

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費

項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 認知症施策推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係

電話番号：058-272-1111(内3281)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 452 千円 (前年度予算額： 452 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	452	226	0	0	0	0	0	0	226
要求額	452	226	0	0	0	0	0	0	226
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、認知症に対する地域資源の充実を図るため、認知症医療において地域の拠点となる医療機関の指定や住民を対象とした認知症サポーター養成などの事業を通じて認知症対策を推進しており、市町村においても、地域の実情に応じながら、それぞれ独自の事業を展開している。

これらの施策は、専門的な見地からの助言を受けながら進める必要があるとともに、県内の市町村が取り組む認知症施策の水準を高めるため、各自治体間の情報共有の充実を図る必要があることから、以下の業務を実施する。

(2) 事業内容

○岐阜県認知症施策推進事業

ア 岐阜県認知症施策推進会議の設置 (年1回実施予定)

医師、認知症疾患医療センター担当者、介護従事者、市町村認知症施策総合推進事業実施市町村担当者等により構成する「岐阜県認知症施策推進会議」を設置し、施策の検討や、先進事例等の情報収集等を行う。

イ 市町村認知症連絡会の開催 (在宅医療介護の圏域別研究会と同時開催)

市町村認知症施策担当者を対象とし、県内市町村へ先進的な自治体の取組事例等について情報共有するなどして県内の認知症施策の水準向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 (介護保険事業費補助金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	147	認知症施策推進会議報償費
旅費	153	認知症施策推進会議、市町村連絡会等に係る旅費
需用費	37	消耗品費、会議費
役務費	42	通信運搬費
使用料・賃借料	73	認知症施策推進会議、市町村連絡会等に係る会場使用料
合計	452	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第9期岐阜県高齢者安心計画「施策の推進」(認知症施策の推進)に位置付けられている。

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・県内市町村において実施する認知症施策について、先進事例や有効な取り組みに関する情報を収集し、県内に周知する必要があることから、県が実施主体となることが適切である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の認知症施策について、各自治体間の情報共有による施策水準の向上ならびに認知症に対する施策の一層の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

情報の共有による認知症施策の充実と普及啓発による認知症に対する地域支援体制の促進を目的としており、数値化することが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県認知症施策推進会議の開催 令和5年2月開催 ・市町村連絡会 令和4年12月 5圏域で開催。両会議の開催により、認知症施策に関する情報共有や意見等を行うことができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県認知症施策推進会議の開催 令和5年10月開催 ・市町村連絡会 令和5年12月 5圏域で開催。両会議の開催により、認知症施策に関する情報共有や意見等を行うことができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県認知症施策推進会議の開催 令和7年2月開催 ・市町村連絡会 令和6年12月 5圏域で開催。両会議の開催により、認知症施策に関する情報共有や意見等を行うことができた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	認知症支援体制は地域によって較差が生じており、推進会議や連絡会の開催による県内全体の認知症施策方針の共有や、情報共有等による各市町村の取組の底上げを実施する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	県内の認知症施策に関する方針の決定・共有のための事業は、これをおいて他になく、有識者の意見を県の施策に取り入れる機会などとして有効である。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	この事業によって開催される会議・連絡会は、認知症に携わる関係者・関係機関によって構成されるもので、必要かつ最少の人員によって開催されるものである。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 認知症施策推進大綱及び認知症施策推進基本法案を受け、県内の多職種が協働して更なる認知症施策を推進していくことが必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き事業を実施し、県の認知症政策の方角性を検討するとともに県内各市町村等の認知症施策の推進支援を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	